

令和5年度 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 福島県表彰式

日時：令和5年 12月 9日(土)

会場：福島市 キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)

令和5年度キャッチフレーズ ～ 届けたい 未来へつなぐ 十七字 ～

事業開始から22年目となる今年度は、県内外から41,678組の出品がありました。1,234組の応募があった南会津域内からは、「ふるさと部門」最優秀賞、「絆部門」優秀賞、両部門それぞれ佳作に1点ずつ選出されました。12月9日(土)福島テルサを会場に行われた県表彰式では、ふるさと部門・絆部門の最優秀賞に輝いた各5組、計10組が表彰されました。域内からは、只見小学校5年 増田琉気さんと母 美奈さんの作品がふるさと部門最優秀賞に選ばれ、福島県教育委員会から表彰されました。



【ふるさと部門 最優秀賞】

只見町立只見小学校

5年 増田 琉気さん・母 美奈さん

しんきろう 只見線が 連れて来る

こだまする 踏み切り音と セミの声

<作品づくりのきっかけ>

5年：琉気さん

今年の夏は暑いです。只見線が、乗る人のワクワクや期待と一緒に夏まで連れてきたと思いました。

母：美奈さん

只見線が再開通して初めての夏です。2年目も只見線がアツイ応援をいただけるように願って作りました。



大沼博文 県教育長より賞状と副賞が手渡されました。



只見線をテーマにした作品で見事に最優秀賞を手にしたお二人。



表彰式の中で受賞作品紹介の時間がありました。お二人の作品が会場内のスクリーンに映し出され、作品に込めたそれぞれの思いを自分の言葉で発表されました。



域内の作品をまとめた『南会津域内優秀作品集』を南会津教育事務所HPに掲載しております。「南会津域内 第一次選考通過作品」69点と「南会津域内審査 奨励作品(スマイル賞)」76点が掲載されています。心温まる作品をぜひ御覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/>

右の二次元コードからご覧いただけます。→



南会津域内表彰式

日時：令和5年12月19日(火), 21日(木)

会場：只見町立只見小学校 下郷町立旭田小学校 下郷中学校

【絆部門 優秀賞】

只見町立只見小学校

5年 中川保菜美さん・父 保浩さん

父の日に初めて作る オムライス

幸せをかみしめなかなか食べられず

<作品づくりのきっかけ>

5年：保菜美さん

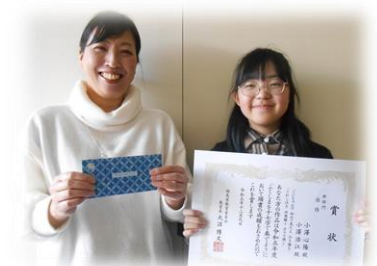
父の日にお父さんの大好物のオムライスを作りました。お父さんはうれしくて泣いてしまいました。

父：保浩さん

父の日に初めて娘がオムライスを作ってくれました。体だけでなく心も成長していて、それがとてもうれしくもったいなくてなかなか食べられませんでした。



母 愛さんが代理出席してくださいました



【絆部門 佳作】

下郷町立旭田小学校

6年 小澤心陽さん・母 浩江さん

じいちゃんの初めて見たよ 泣き顔を

うれし泣き 回復願う ガラス越し

<作品づくりのきっかけ>

6年：心陽さん

入院していたじいちゃんに会いに行ったら泣いていたから。

母：浩江さん

4月から入院している父とガラス越しの面会ができるようになり、弱みを見せるタイプではないのに泣き顔を見せたから。

【ふるさと部門 佳作】

下郷町立下郷中学校

2年 小山美来さん・父 郁朗さん

虫送り 次代に残す 撮影隊

伝統を みんなでささえた 虫送り

<作品づくりのきっかけ>

2年：美来さん

白岩の伝統行事の虫送りに去年から参加することになりました。作ることはできませんが撮影隊として映像に残すことや、作り方を見て将来自分がやっていけるようにしたいと思いこの作品を作りました。

父：郁朗さん

旧暦 6 月 26 日に行われる白岩地区虫送り。今年は多くの住民の方々が参加しました。私たちの保存会だけでなく、伝統をみんなでささえていることを改めて感じました。

